Health Quality Outcome Research Seminar

ヘルスクオリティ・ アウトカムリサーチ セミナー

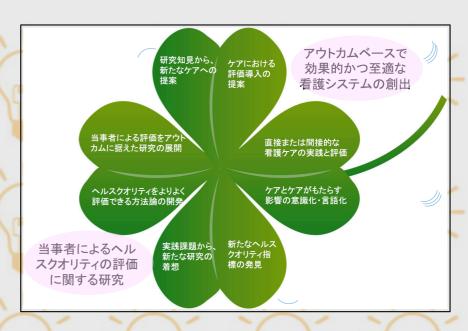
2018年3月12日(月)、13日(火) 14日(水)、15日(木)

> 東京大学本郷キャンパス 医学部3号館S101

> > 参加費 無料

東京大学大学院医学系研究科附属 グローバルナーシングリサーチセンター ヘルスクオリティ・アウトカムリサーチ分野では、ケアを受ける当事者に寄り添い、いかに生き、いかに死ぬか、その生活や人生の質、ヘルスクオリティの向上を目指しています。

ヘルスクオリティを評価できる方法論の開発、その当事者による評価をアウトカムに据えた研究の展開、アウトカムベースで効果的かつ至適化された看護システムに関する知見の創出を行っています。



このセミナーでは、講義や演習を通して、ヘルスクオリティ・アウトカムリサーチに 欠かせないアウトカム・インジケーターの作成・評価を学びます。



【講師紹介】

Pamela S Hinds, RN, PhD, FAAN
Director, The Children's Research Institute, Children's
National Health System

小児がん患者やその家族のヘルスクオリティやアウトカムの向上を目指した看護・ケアに関する研究に長年携わっています。

【スケジュール】

3月12日(月)10:00~15:00

- 1. 構成概念・多項目尺度と指標
- 1-1. 潜在概念
- 1-2. 概念と指標の関係
- 1-3. 項目・尺度作成のプロセス

3月13日(火)10:00~15:00

- 2. 尺度作成のプロセス
 - 2-1. 項目作成と概念整理
 - 2-2. 教示文・説明文書等の作成
 - 2-3. 回答項目の考え方と作成

3月14日 (水) 10:00~15:00

- 3. 尺度の評価(1)
 - 3-1. 実施可能性、内容・表面妥当性と 評価方法
 - 3-2. Cognitive interviewの手法

3月15日(木)10:00~15:00

- 4. 尺度の評価(2)
 - 4-1. フィールド調査を用いた概念 妥当性・信頼性の評価
 - 4-2. 概念妥当性・信頼性の分析

【参加希望】

- ①氏名、②年齢、③所属、④専門分野を記入の上、todaikazoku-jimu@umin.ac.jpまで、ご連絡ください。
- ※ 講義の内容は変更の可能性があります。講義と演習は英語または日本語で行います
- ※ 基礎的な研究知識・手法(文献検索によるシステマティックレビューの方法等)、量的研究・ 統計手法の知識(平均値と標準偏差の算出、相関係数や相関分析等)を身に付けていることを 前提とします